

## 第57回建築士会全国大会「ふくしま大会」に参加して

静岡地区 岡山 晋也

建築士の決断「ならぬことはならぬものです」ふくしまで語ろう 建築・絆・再生 のスローガンの下で始まった今年の全国大会。今年も全国から参集した建築士会員が10月24日（金）9時から交流セッション、情報発信セッション、ヘリテージマネージャー大会などに分かれ、活発な意見を飛び交わしたであろうと推測されます。と言うのも、御前崎を午前5時30分に中部ブロック内の会員を乗せて発ったバスが、会場の郡山市のビックパレットふくしま（福島県産業交流館）に到着したのは、大会式典が始まる午後3時ちょっと前でした。大会参加の記念写真を撮り、急いで受付を済ませ式典へ参加。会場内で佐藤会長初め、静岡県からの参加者と出会い、挨拶を交わす。個々に参加してる人達も数人いたなあ……。青年委員とは逢えず。会場は3,500人程の人達が其々の全国ブロック単位で着席していた。

数年後（東京オリンピック前後？）には、大会県となるであろう静岡県建築士会。会場設定から様々な準備に取り掛かる事になるであろう。

式典には間に合ったが、他県の情報についてはかなりの消化不良となった。当然、特産品のコーナーでも、完売した店が片付け始めてる状況で、残り物の中から家族への土産を探す。5時半には、今夜の宿（会津若松の東山温泉）へ向けて会場を後にした。来年以降は少し考慮する必要があるかもね。但し、旅費の事もあるので・・・何とも言えないけど、でも「ならぬことはならぬもの」ですよ（笑）

宿に着き、早速今日の疲れを癒すため風呂に行く。露店風呂は溪流の横にあり、紅葉には少し早かったが景色は抜群の中、裸の付き合いに花が咲く？宴会会場では、カラオケ無料だったが、唄った人は一人だけ。建築士会の今後についてそこそこで激論？があったのだろうか定かでない……。9時には終了。それぞれ後は自由行動となり、10時には寝てしまった私には皆の様子は判らない……。

さて、翌朝は予定を急きょ変更して、見学コースが二班に分かれた。私は、急きょ設定されたコース

（国史跡会津藩主松平家墓所＝御廟）へ参加。全国の石工さん達が必ず訪れると言われているだけあって素晴らしい処であった。墓（神式）づくりについての知識が全くなかった私には驚きの連続であった。しかもその墓石の巨大さに圧倒されてしまっていた。小一時間かけて見学。二代藩主から九代容保までの墓が並ぶ（しかも、先代に敬意を払って少しづつ小さく造ってある）山全体に何か想像を超えたものに包まれたものを感じてしまった。後で聞いたらどうもここは「隠れたパワースポット」であるらしい。もう一班は武家（幕末の家老＝西郷頼母）屋敷を見学。家紋の九曜は何か薩摩藩と関係があるのかな？知識不足で判らずじまい。（薩摩焼酎「九曜」は旨い）

次は飯盛山の白虎隊の史跡を見学（記念撮影）し、横にある「さざえ堂」＝正宗寺・円通三宗匠堂（えんつうさんそうどう）を見学した。国の重要文化財の指定を受けている建物である。六角3層、昇降別々の螺旋形通路により階段がなく、一方通行で日本で唯一、世界にも例のない建築物である。次に鶴ヶ城の近くの酒蔵を見学（試飲が楽しみでもあったが、結局乗せられて買わされてしまった）昼食を済ませ、午後1時に会津若松を出発。静岡へ到着したのは午後10時15分 榛原地区の人達は今日中に家に着くのだろうか心配しながら、重い荷物（土産）を抱え自宅への帰路についた。毎年、思うことだが、建築士会全国大会への旅行では会員同士の親睦もさることながら、県内の会員を含め全国の士会会員の新しい人との出会いに感動する。



ビックパレットふくしまにて



ビックパレットふくしま 式典



国史跡会津藩主 松平家墓所



正宗寺・円通三宗匠堂